

令和元年度決算に係る

定期監査

資料

決算審査

令和2年7月

商工労働部通商物流課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	決算資料（総括表）	7 頁
7	事業別実施状況調べ	8 頁
8	予備費の充用調べ	10 頁
9	繰越関係調べ	10 頁
	(1) 継続費通次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
10	収入証紙取扱額調べ	10 頁
11	現金の取扱状況	10 頁
12	財産に関する調べ	11 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
13	財産の貸付及び使用許可調べ	12 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
14	借受不動産明細調べ	13 頁
15	職員駐車場の管理状況調べ	13 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
16	寄附物件の受納状況調べ	13 頁
17	備品の処分状況調べ	13 頁
18	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	13 頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
19	貸付金等状況調べ	13 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	14 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項・・・該当なし
- (2) 監査意見・・・該当なし
- (3) 決算審査意見・・・該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

指 摘 事 項	措 置 て ん 末
<p>県内企業の海外展開について 県内企業の海外展開支援として、タイ・バンコクに鳥取県東南アジアビューロー、ロシア・ウラジオストクに鳥取県ウラジオストクビジネスサポートセンターが設置されていますが、既存の取組みを単に継続してだけでなく、事業効果が期待できる地域や業種を絞って事業展開をするよう検討すべきであります。</p>	<p>鳥取県東南アジアビューローについては、令和2年度において、現地大学や関連機関と連携した人材確保や現地ニーズが高まっている介護用品市場への参入等を実施し、戦略的に外需獲得を取り組んでいく。 鳥取県ウラジオストクビジネスサポートセンターについては、令和2年度において、県内企業の関心が高く現地ニーズも高い環境、医療、IT関連分野等に集中して外需獲得に取り組む。</p>

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備 考
	2.4.1 現 在	31.4.1 現 在							
定 員	9	9					9	9	
現 員	(2) 11	(4) 10	()	()	()	()	(2) 11	(4) 10	育児休業1名 定数外1名（山陰合同銀行から1名）
過不足(△)									
臨時職員									
非常勤職員									

4 役付職員の調べ

(令和2年7月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
課長	山本桂司	5	0	旧経済通商総室主幹（1年）課長補佐（2年）旧経済産業総室課長補佐（2年4月）を含め、10年3月
課長補佐	清水明史	7	3	旧経済産業総室課長補佐を含め7年3月
課長補佐	寺杉祐以	2	3	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
県内企業海外展開サポート事業	39,032	485		38,547
鳥取元気プロジェクト	I ひらく (1) 人、物、情報の「大交流新時代」を切り拓く「北東アジアゲートウェイ構想」			
元気づくり総合戦略	II 産業未来・雇用創造			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
経済のグローバル化がますます進展していくことを見据え、県内企業の海外展開の支援を強化する。				
(イ) 事業の実施状況				
(1) 県内企業海外展開ファイル作成事業				
幅広い産業分野の県内企業に対し、貿易状況等に関する調査を行い、県内企業海外展開ファイルを作成し、県内貿易支援機関と連携した海外展開支援を実施した。				
(2) (公財) 鳥取県産業振興機構とっとり国際ビジネスセンター運営事業				
成長分野(医療・環境等)海外展開支援事業	<商談会開催事業> ものづくり系企業の海外販路拡大を支援するため、成長が見込まれる医療及び環境分野への参入を中心とした商談会等を実施した。 ◆韓国GMES 県内参加企業数：2社 ◆東京国際バイオマス展 県内参加企業数：4社			
海外販路開拓活動同行支援事業	<海外販路開拓活動同行支援事業> 県産品海外商談会に参加する県内企業に、とっとり国際ビジネスセンター職員が同行し、アドバイス及びフォローアップを行った。支援企業：3社			
海外展開活動支援事業補助金	<県内企業海外展開支援補助金> 海外見本市や商談会への参加等、企業の海外販路開拓の取組を支援した。 ・補助率1/2、補助限度額 チャレンジ型：1,000千円/社、優良案件先行型3,000千円/社。支援企業：9社			
海外展開外部専門家派遣事業	<専門家派遣事業> 海外企業との取引を確実に成約に結びつけていくため、県内企業の海外展開の戦略立案や実務を外部専門家がハンズオンで支援した。支援企業：2社			
とっとり国際ビジネスセンター体制整備事業	事務所運営費(賃料、光熱費、事務費等)、専門言語スタッフ(韓国、ロシア、中国)人件費及び専門相談員等の配置。			
イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
SDGsへの関心が高まる中、介護分野や環境分野で県内企業の技術を活かした海外展開を支援するため、東南アジア(タイ)でのニーズ調査(R2.1)企業の東京国際バイオマス展への出展(R2.2)など、新たな分野での取り組みを推進した。				
ウ 成果及び効果				
ビジネスセンターの支援(展示会出展、外部専門家派遣事業及び海外展開活動支援事業補助金等)により、新たに10社が海外展開に取り組んだ。具体的には、金属部品の受注獲得(ベトナム)、機械製造委託(タイ)、和紙装飾品受注獲得(米国)、健康食品の輸出(中国)、PCゲーム開発契約(香港)など、新規に23件が成約した。 県内乳製品メーカーの韓国大手百貨店での受注活動支援を行い、現地販促フェア(R2.4月)に結び付けるなどした結果、20フィートコンテナ1本分の輸出につながった。 本県と友好都市である中国吉林省长春市に拠点を置く欧亚集団(中国最大級のショッピングモールを所有)での県産品の販売のため、欧亚集団バイヤーの招聘を行うなど商談を進め、令和2年度(秋ごろ予定)の鳥取県物産展の開催につなげた。				
エ 課題				
引き続きJETRO、JICA、中小企業基盤整備機構等、国レベルの海外展開支援機関とも連携した海外展開支援を行うとともに、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、海外での展示会、商談会が実施できない中、Webを活用したセミナーや商談会など、コロナ禍においても県内企業が新たな海外展開に取り組めるような支援体制を充実させていくことが必要である。				

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算（見込）額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
ロシアビジネス拠点化構築事業	10,190	5,095		5,095
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略				
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>鳥取県ウラジオストクビジネスサポートセンター及びロシア専門マネージャーのサポート機能を活用しながら、県内の貿易支援機関、経済団体及び金融機関等がメンバーである鳥取県版「中小企業及び人的交流分野における協カプラットフォーム」における連携により、県内企業のロシアからの需要獲得を行っていく。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>(1) 鳥取県版「中小企業・人的交流分野における協カプラットフォーム」事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の経済団体、金融機関、大学及び行政が参加してプラットフォーム会議を開催し、幅広い分野におけるロシアとの交流を進めていくことを確認した（平成31年4月）。 ・ロシア若手経営者の団体である露日ビジネスカウンスル・レピク会長他が来県して、本県と露日ビジネスカウンスルとの間で協カ覚書を締結し、医療、廃棄物処理及び観光分野で協力をすすめていくことで合意した（R元年6月）。覚書をもとにロシアの商社が来県し、県内企業（酒及び加工食品）とロシア向け輸出について具体的な商談をおこなった（R元年12月）。 ・日露両国の関係関係等が参加する第5回東方経済フォーラム（令和元年9月、ウラジオストク）に平井知事が出席し、日露ビジネスラウンドテーブルにおいて、本県のロシアでの物流・交流についてプレゼンテーションを実施した。 ・オープン・イノベーションフォーラム（令和元年10月、モスクワ）に県内IT関連の経済団を派遣し、本県における取組みをプレゼンテーションを実施するとともに、モスクワ市内企業とIT関連開発等の商談を実施した。 <p>(2) 鳥取県ウラジオストクビジネスサポートセンター及びロシア専門マネージャーの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、上記機能を活用して、本県とロシアとのビジネスマッチング支援及び人材収集等を実施した。 <p>イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>国内外を問わず、遠隔地の関係者との意思疎通を行う際Web会議等を積極的に活用することで、頻りに接する機会を作り出すなど、ビジネス案件造成に繋がりやすい環境整備をおこなった。</p> <p>ウ 成果及び効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・露日ビジネスカウンスルとの間で協力の覚書を締結したことをきっかけとして、県内企業が医療関連機器の受注獲得をしたほか、バイオ関連で技術協力が進むなど医療分野で新たなビジネス創出に繋がった。 ・ロシアでも都市問題として注目されている廃棄物処理分野で、ロシア連邦サハ共和国が進めるごみリサイクル処理施設建設に関し、県内企業のシステムを導入する方向で合意し、契約に向けた覚書を締結した。 ・IT分野において、県内企業がロシアでのオフショア開発及び高度外国人材の雇用を検討中。 ・県内企業が製造する食品（酒類、加工食品）に関し、モスクワの高級レストラン向けの受注を獲得した。 ・ロシア郵便売店向けに全国の日本製品を境港に集約し、環日本海定期貨客船を活用してロシア向けに輸出するなど、ロシア向け貨物量を増加させた。（R元年度実績：20Fコンテナ9本） <p>エ 課題</p> <p>鳥取県ウラジオストクビジネスサポートセンター及びロシア専門マネージャーのサポート支援、露日ビジネスカウンスルとの交流、鳥取県版「中小企業及び人的交流分野におけるプラットフォーム」による連携により、医療、廃棄物処理、IT等の分野における案件を確実に成約に結びつけるとともに、新分野及び新規案件の開拓を進めていく。</p>				

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算（見込）額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
戦略的グローバル展開支援事業	1,394			1,394
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>TPP11、日EU・EPA等、変動する国際経済情勢に迅速に対応し、企業の海外需要獲得の取組を支援する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>(1) 戦略的海外展開構築支援事業</p> <p>【通常型】採択件数：2件</p> <p>○国際経済動向に対応し、海外市場におけるブランド化や市場席捲等による海外需要獲得に取り組む中小企業グループ等の活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輝の会（県内企業グループ） 日EU・EPAの規制緩和等を機会として、県内企業グループが欧州市場向け商品（県産素材のアルコール飲料・発酵食品）を「鳥取ブランド」としてとりまとめ、欧州・ロシアに展開した。 ・(株) スーパー・フェイズ（伯耆町） 環境負荷低減のためのEU内のリサイクル義務化を見据えて、まずはつながりのあるチェコ向けの紙おむつ処理プラントの輸出に必要なCE認証を取得し、欧州市場展開の足掛かりとした。 <p>【サプライチェーン再構築型】採択件数：1件</p> <p>○新型コロナウイルスの感染拡大により、サプライチェーンの再構築を図る企業の活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株) オートフレンド（鳥取市） コロナ禍の影響で輸入が困難になった中国生産委託の製品（自動車パーツ）について、サプライチェーンの多元化を目的として、タイからの調達に取り組んだ。 <p>(2) 海外展開戦略検討事業（産業別（食品及び医療機器）ワーキンググループの開催）</p> <p>○食品WGでは、欧州向け日本酒商談会「サロン・デュ・サケ（フランス）」出展を核にした欧州販路開拓戦略について専門家を交えて検討した。</p> <p>○医療機器WGでは、医療機器海外展開サポートチームが、県内企業の商品を事例として医療機器の海外販路開拓のプロセスや課題等の整理を行い、関連県内企業へ情報共有を行った（コロナ禍の影響で報告会は延期となった）。</p> <p>イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>コロナ禍の影響による国際的サプライチェーン棄損への対応（調達先等の多元化）策を支援するため、当該事業を活用してサプライチェーン再構築に取り組む企業への支援をおこなった（令和2年2月開始）。</p> <p>ウ 成果及び効果</p> <p>【食品関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内5酒造業者等が「サロン・デュ・サケ（フランス）」出展（10月）、現地高級レストランと連携した業界向けのプロモーションを実施の結果、新規契約及び取引拡大につながった。 ・県内蔵元14蔵が「鳥取県和酒輸出蔵元協議会」を設立。協議会が「日本産酒類のブランド化推進事業」が国税庁の事業に採択（R2年度）され、（人口13億人を超える）インド市場開拓を行うことになった。 <p>【医療機器関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WGメンバーの県内医療機器開発企業と鳥取大学が連携したタイにおける医療用シミュレーターを活用した内視鏡人材育成プログラムが国立国際医療研究センター公募事業採択された。 <p>エ 課題</p> <p>コロナ禍によりサプライチェーンの再構築を支援するとともに、アフターコロナに対応した非対面での海外展開手法など、県内企業が外需獲得をすすめていくための支援が必要である。</p>				

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算（見込）額	財源内訳																																																						
		国庫支出金	その他	一般財源																																																				
環日本海圏航路就航奨励事業	22,400			22,400																																																				
鳥取元気プロジェクト																																																								
元気づくり総合戦略																																																								
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>境港～東海～ウラジオストクを結ぶ環日本海定期貨客船航路の安定的かつ継続的な運航に資するため、境港～東海間の運航経費の一部を助成する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>航路の定着、安定化を図るため、運航経費の一部について助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交付先 : 環日本海経済活動促進協議会 ・ 交付額 : 22,400千円 ・ 助成対象 : 境港～東海間の運航経費のうち固定的経費の1/10を助成。 (1往復あたり100万円を上限) <p>イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新たな需要拡大のため、貨物と旅客が同時に運べるフェリーの特徴を活かした自家用車両持込利用の広報を行った。 ○アウトバウンド拡大のため、日本企業に対して、船の移動時間を利用した船内研修の利用促進プロモーションを図った。 <p>ウ 成果及び効果</p> <p>平成21年6月の就航以来、環日本海定期貨客船航路の定期運航が継続され、外国人観光客の誘致や県内企業の海外での販路拡大など、様々な波及効果をもたらした。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運航回数 (往復)</td> <td>50</td> <td>86</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>49</td> <td>49</td> <td>48</td> <td>53</td> <td>50</td> <td>49</td> <td>42</td> <td>576</td> </tr> <tr> <td>延べ乗客数 (人)</td> <td>17,568</td> <td>26,589</td> <td>23,475</td> <td>25,388</td> <td>24,410</td> <td>17,353</td> <td>26,934</td> <td>29,143</td> <td>33,567</td> <td>27,815</td> <td>15,321</td> <td>267,563</td> </tr> <tr> <td>取扱貨物量 (トン)</td> <td>996</td> <td>8,002</td> <td>7,791</td> <td>8,923</td> <td>9,737</td> <td>7,127</td> <td>6,019</td> <td>6,461</td> <td>7,111</td> <td>6,498</td> <td>3,427</td> <td>72,092</td> </tr> </tbody> </table> <p>エ 課題</p> <p>運航会社が、令和2年4月27日付けで韓国海洋水産部へ運航免許を返納した。今後、厳しい世界情勢下に置かれている中、航路の再開に向けて、関係機関などと連携して取り組んでいく。</p> <p><返納理由></p> <p>日韓関係の悪化による旅客減少に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、旅客等の見込みがつかないため事業を断念した。</p>					年	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	計	運航回数 (往復)	50	86	50	50	49	49	48	53	50	49	42	576	延べ乗客数 (人)	17,568	26,589	23,475	25,388	24,410	17,353	26,934	29,143	33,567	27,815	15,321	267,563	取扱貨物量 (トン)	996	8,002	7,791	8,923	9,737	7,127	6,019	6,461	7,111	6,498	3,427	72,092
年	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	計																																												
運航回数 (往復)	50	86	50	50	49	49	48	53	50	49	42	576																																												
延べ乗客数 (人)	17,568	26,589	23,475	25,388	24,410	17,353	26,934	29,143	33,567	27,815	15,321	267,563																																												
取扱貨物量 (トン)	996	8,002	7,791	8,923	9,737	7,127	6,019	6,461	7,111	6,498	3,427	72,092																																												

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算（見込）額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
GTIと連携した北東アジア輸送ルート確立事業	4,244,557	2,122,277		2,122,280
鳥取元気プロジェクト	I ひらく (1) 人、物、情報の「大交流新時代」を切り拓く「北東アジアゲートウェイ構想」			
元気づくり総合戦略	II 産業未来・雇用創造			
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>北東アジアの各地方政府で構成される広域圏門江開発計画（GTI）・地方政府委員会の枠組みにおいて、環日本海圏航路の利用促進や中露国境の物流円滑化を図り、地方政府間の連携を強化する。</p> <p>また、平成30年10月に中国・吉林省と締結した「鳥取・吉林ADAS・EVプロジェクト」の推進に関する覚書に基づき、第一汽車とのビジネス連携を推進する取組や、環日本海圏定期貨客船の新たな物流ルート開拓に向けた取組等を実施する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>(1) GTI北東アジア地方協力委員会への参加</p> <p>7月にモンゴルで開催されたGTI地方協力委員会ロジスティック小委員会（LSC）において、吉林省と共同でトライアル輸送計画を提案し、GTI事業として正式に承認を得た。</p> <p>(2) 鳥取・吉林海上輸送ルート構築事業</p> <p>境港の北東アジアゲートウェイとしての機能強化及び鳥取県と中国吉林省との物流ルート構築を目指し、8月にウラジオストク港を経由した中露国境トライアル輸送を実施した。</p> <p>「鳥取・吉林ADAS・EVプロジェクト」の推進のため、県内企業へのインターンシップに向けた事前準備として、吉林大学汽車工程学院の教授及び学生が来訪し、県内企業等を訪問し意見交換等を実施した（令和元年8月）。また、「第12回中国、北東アジア博覧会」（長春市）に鳥取県ブースを設置し、技術交流の商談会を実施した（令和元年8月）。第一汽車のティア1（欧州企業）に対して、県内企業が技術プレゼンテーションを実施した（令和元年11月）。</p> <p>「GTI博覧会」（韓国江原道）に鳥取県ブースを出展し（令和元年10月）、食品等の販売及び環日本海定期貨客船のPRを実施した。</p> <p>イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>ザルビノ延伸トライアルの取組によって明らかになった課題を考慮し、ウラジオストク経由で中露国境間を通過する輸送ルートに方針を切り替え、荷物が衝撃をうけにくい等の効果がみられた。</p> <p>ウ 成果及び効果</p> <p>鳥取・吉林ADAS・EVプロジェクトに関し、相互訪問及び展示会への出展等を通じて、マッチングに向けた情報交換が促進されたほか、インターンシップに向けて吉林大学及び県内企業の双方に実施に向けた計画の動きがでてきた。</p> <p>環日本海定期貨客船を活用した吉林省との共同のトライアル輸送計画がGTI地方協力委員会ロジスティック委員会において承認され、同航路の認知度が向上した。</p> <p>エ 課題</p> <p>GTI地方協力委員会においては、これまでに鳥取県が実施したトライアル輸送の実績を元に、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、新しい物流ルートの開拓および貨物輸送の需要創出を喚起するよう努める。</p> <p>新型コロナウイルスにより停滞している「鳥取・吉林ADAS・EVプロジェクト」については、コロナ収束後にスムーズに事業を再開できるよう、吉林省や第一汽車の関係者、国内事業者とともに緊密な連携を継続する。</p>				

6 決算資料

一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予算額			現額		調定額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越財源充当額	計						
歳入	商工費国庫補助金	27,407,000	△10,783,000	0	16,624,000	14,740,510	14,740,510	0	0		
	財産貸付収入	60,000	0	0	60,000	64,425	64,425	0	0		
	雑入	1,304,000	△19,000	0	1,285,000	1,355,700	1,355,700	0	0		
	合計	28,771,000	△10,802,000	0	17,969,000	16,160,635	16,160,635	0	0		

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予算額			現額		決算額 B	決算額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引増減額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計 A		本庁	出納機関			
歳出	商業振興費	98,219,000	0	0	0	98,219,000	98,219,000	0	0	0		
	貿易振興費	215,043,000	△39,102,000	0	0	175,941,000	147,210,672	113,341	0	28,730,328		
	諸費	0	0	0	73,998	73,998	73,998	0	0	0		
	合計	313,262,000	△39,102,000	0	73,998	274,233,998	245,503,670	113,341	0	28,730,328		

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	当初 予算額 A	補正 予算額 B	支出済額 C	翌 年度 繰 越 額 D	差引残額 E=A+B-C-D	執行率 F=C/A	事業の計画と実績・成果・不用額・ 執行率
(商業振興費)							
運輸事業振興 助成事業	98,219,000	0	98,219,000	0	0	100%	県内の貨物運送事業者の輸送力の確保、輸送サービスの改善、安全運転の確保等を促進し、公共の利便の増進に寄与することを目的とし、(一社)鳥取県トラック協会が行う交通事故防止対策、環境保全対策等を支援した。
目計	98,219,000	0	98,219,000	0	0	100%	
(貿易振興費)							
競争力のある物流 機能構築支援事業	1,500,000	△500,000	690,000	0	310,000	46.0%	県内物流機能向上を図るため、県内物流事業者や荷主企業が行う物流機能の高度化・効率化の取組について経費の一部を助成した。 【不要となった理由】 新型コロナウイルスの影響に伴う販路機会の縮小により実証回数が減少したため。
ロシアビジネス 拠点化構築事業	18,807,000	△5,989,000	10,286,623	0	2,531,377	54.6%	主な事業に関する調べのとおり
貿易支援体制 整備事業	13,997,000	0	13,997,000	0	0	100%	JETRO鳥取の貿易支援に関する取組に対して負担金を拠出した。
アジア地域経 済交流推進事 業	27,293,000	△235,000	26,831,832	0	226,168	98.3%	アジア地域との経済交流に取り組み、海外との取引拡大を目指す県内企業を支援した。

境港利用促進事業	24,397,000	0	16,227,383	0	8,169,617	66.5%	境港の利用促進を図るため、境港貿易振興会が実施するポートセールス活動等に対する経費の助成を行った。また、境港利用の荷主に対し、輸出入に要する経費の一部を支援した。また、境港発着コンテナ混載(LCL)輸送サービスを行う事業者に対して事業経費の一部を支援した。 【不要となった理由】 環日本海定期貨客船航路が令和元年11月より臨時休航し、同航路を利用する荷主企業に対する助成制度の利用がなくなったため。
企業立地認定事業者貨物誘致支援事業	875,000	0	750,000	0	125,000	85.7%	企業立地の促進と境港の利用促進を図るため、境港外貿定期航路を利用する鳥取県企業立地等事業助成条例に基づく事業認定事業者に、操業開始から一定期間、一定量の貨物について輸送経費の一部を助成した。
GTIと連携した北東アジア輸送ルート確立事業	21,020,000	△16,258,000	4,244,557	0	517,443	20.0%	主な事業に関する調べのとおり 【執行率50%以下の理由】 ロシア連邦ザルビノ港に延伸させてのトライアル輸送に関し、船主側の諸事情によりウラジオストク経由の輸送に切り替えたことによる執行減のため。
(主)県内企業海外展開サポート事業	48,984,000	△2,230,000	39,032,383	0	7,721,617	79.7%	主な事業に関する調べのとおり
(主)環日本海圏航路就航奨励事業	36,400,000	△11,200,000	22,400,000	0	2,800,000	61.5%	主な事業に関する調べのとおり
環日本海圏航路利用促進事業	12,670,000	0	11,356,759	0	1,313,241	89.6%	環日本海定期貨客船の利用増加及び認知度向上を図るため、各種PR・プロモーション等の取組を行った。
戦略的グローバル展開支援事業	9,100,000	△2,690,000	1,394,135	0	5,015,865	15.3%	主な事業に関する調べのとおり 【執行率50%以下、不要となった理由】 新型コロナウイルスの影響で、県内企業が海外展開を行うことができなくなったことによる補助金の執行減のため。
目計	215,043,000	△39,102,000	147,210,672	0	28,730,328	68.4%	

(諸費)							
償還金	0	0	73,998	0	0	0%	平成30年度地方創生推進交付金を充当していた「ロシアビジネス拠点化構築事業」に関し、国への実績報告後に、実績額に誤りがあり返納額が生じたことから、平成31年度の諸費により返還した。
目計	0	0	73,998	0	0	0%	
合計	313,262,000	△39,102,000	245,503,670	0	28,730,328	78.3%	

8 予備費の充用調べ・・・該当なし

9 繰越関係調べ

(1) 継続費通次繰越調べ・・・該当なし

(2) 繰越明許費調べ・・・該当なし

(3) 事故繰越調べ・・・該当なし

10 収入証紙取扱額調べ

有 ・ 無

11 現金の取扱状況・・・該当なし

12 財産に関する調べ

(1) 公有財産
ア 土地

(令和2年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日		面積 (㎡)
普通財産	(内訳) FAZ倉庫用地	境港市竹内団地257	29,826.34	715,615,169	増加	H						
			29,826.34	715,615,169	減少	H						
計			29,826.34	715,615,169								
合計			29,826.34	715,615,169								

- イ 建物 . . . 該当なし
- ウ 山林 . . . 該当なし
- エ 不動産売却等 . . . 該当なし
- オ 財産の交換 . . . 該当なし
- カ 動産 (船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) . . . 該当なし
- キ 物権 . . . 該当なし
- ク 無体財産権 (特許権、著作権、商標権、実用新案権等) . . . 該当なし
- ケ 有価証券 . . . 該当なし
- コ 出資による権利 . . . 該当なし

(2) 金券類の保有状況

- ア 金券の保有状況
(有) ・ 無

イ タクシーチケットの受払状況

(令和2年3月31日現在)

前年度未使用枚数	本年度中		本年度未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
枚 78	枚 0	枚 47枚 113,160円	枚 31

(3) 基金 該当なし

(4) 債権 該当なし

13 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住所	氏名	
普通財産	FAZ 倉庫用地	境港市竹内団地 257	29.826.34 m ²	H8.1.1	H8.1.1	H8.1.1～ H37.12.31	年額 無料	無料	境港市竹内団地 255-3 (株)さかいみなと貿易センター		
	第一種電気通信事業	境港市竹内団地 257	電柱 2 本 支線 2 条 管路 3 条	H28.2.9	H8.6.25	H28.4.1～ H33.3.31	年額 7,500円	7,500	鳥取市湯所町二丁目 258 西日本電信電話(株)鳥取支店		
	電力供給事業	境港市竹内団地 257	管路 2 条 管路 2 本	H28.2.23	H8.7.15	H28.4.1～ H33.3.31	年額 1,500円	1,500	米子市加茂町二丁目 51 中国電力(株)米子営業所		
	第一種電気通信事業	境港市竹内団地 257	電柱 1 本	H28.2.9	H25.10.10	H28.4.1～ H33.3.31	年額 1,500円	1,500	鳥取市湯所町二丁目 258 西日本電信電話(株)鳥取支店		
	電気通信事業	境港市竹内団地 257	電柱 1 本 支線 1 条	H28.3.8	H28.3.8	H28.3.8～ H32.3.31	年額 3,000円	3,000	広島市中区大手町二丁目 11-10 (株)エネルギア・コミュニケーションズ		
	電力供給事業	境港市竹内団地 257	電柱 3 本	R.1.6.3	R.1.6.3	R1.5.29～ R.3.31	年額 4,500円	4,125	米子市加茂町二丁目 51 中国電力(株)米子営業所		
	計							17,625			
合計								17,625			

イ 建物・・・該当なし

(2) 物品 (1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)・・・該当なし

- 14 借受不動産明細調べ・・・該当なし
- 15 職員駐車場の管理状況調べ・・・該当なし
- 16 寄附物件の受納状況調べ・・・該当なし
- 17 備品の処分状況調べ・・・該当なし
- 18 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
（1）現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
有 ・ 無
- （2）物品の照合
有 ・ 無
- 19 貸付金等状況調べ・・・該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

なし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

なし